



広重版画より 三島 朝霧

第2319回例会

2021.12.9晴

司 会 西本和夫君

ロ-タリー-ソング 「我等の生業」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶 会長 森崎祐治君

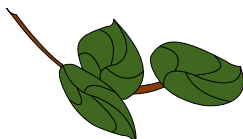
皆さんこんばんは。今朝は富士山がすそ野まで真っ白になり青空に映えていました。

さて前回募金していただいた、やまがた楽器、山形様への火災の見舞金はその日のうちに前田博利さんと二人で届けてまいりました。

また本日は19日のロータリー奉仕デーへの食品等の提供をしていただきありがとうございます。

さて今夜はテーブルミーティングを予定しています。12月は「疾病予防と治療月間」ですが、50周年実行委員会の組織も体制が整いお芝居の準備等既に取り組みを始めていただいているところもありますが今夜は各委員会メンバーの顔合わせをしていただき、どんな役割でどんなことを担うのかまずは大まかなところから認識を共有していただけたらと思います。コロナ禍での環境も考慮しつつということですが、ぜひ皆さんの知恵を集めて三島西RCらしさがあれば新たな時代に向けて従来形に必ずしも拘らず記念事業や活動が企画、実行できればいいと思っています。

どうぞよろしくお願ひ致します。



出席報告

	出席総数	出席率	メ-ック	修出席正率
前々回	34/46	73.91%	41/46	89.13%
今回	40/47	85.11%	会員総数	53名

欠席者 秋元君、千葉君、橋本君、花房君、古屋君、矢野君、横溝君

幹事報告 幹事 川名正洋君

- ①今日は50周年実行委員会委員会別ミーティングです。
- ②12月19日せせらぎ三島RC主催の奉仕デーに対して皆さんの食料品の提供を頂きありがとうございました。
- ③前回例会時に募金頂きました山形楽器さんへのお見舞金ですが5万円集まり、当日森崎会長、前田博利君が山形楽器さんへお届けしました。ご協力頂きありがとうございました。
- ④投書のあった「とびだし注意」の看板ですが、劣化が酷く撤去することにしました。
- ⑤1月11日の4クラブ合同新年会ですが、花房さんのご好意により、伊豆長岡駅からホテルサンバレー富士見までバスで送迎して頂けることになりました。時間につきましては次回例会時にご案内させていただきます。
- ⑥1月13日は通常例会です、11時30分理事・役員会・12時30分例会。
- ⑦大河ドラマ「鎌倉殿の13人」グランド・プレミアin伊豆の国のご案内が来ています。サテライト会場での観覧の応募締切が10日までとなっていますので、ご希望の方は各会場まで往復ハガキを持参して申し込みください。

おめでとう

会員誕生日	亥角君
入会記念日	藤江君
奥様誕生日	藤江君、杉崎君、町野君
結婚記念日	鈴木(郁)君

スマイルボックス

- ◆ 遠藤(武)君、皆様お元気ですか？この度は、色々ご心配をお掛けし、又、お見舞いまで頂きましてありがとうございました。少しずつ良くなっていますがまだまだ歩くことも出来ず出席できる状態ではなく、本当に残念ですが20年の長い年月に別れを告げ12月で退会することに決めました。たくさんの勉強に楽しい思い出、台湾にも何回も行き大勢のお友達が出来、楽しい思い出がいっぱいありました。私の大事な第2の人生でした。長い年月お世話になりました。どうかこれからも西ロータリーの益々のご活躍を心よりお祈りしております。どこかで見かけたらヤア、と声をかけてください。そして私のいたことも忘れないでくださいね。1年欠席してすみません。本当ににお世話になりました。ではごきげんよう、さようなら。
- ◆ 伊丹君、昨日はFテーブル会を松韻で開催していただきありがとうございました。
- ◆ 和田君、先日のテーブル会ありがとうございます。
- ◆ 窪田君、急用があるため早退させていただきます。誠にすみません。

委員会報告

職業・社会奉仕委員会 委員長 木村安紀夫君

せせらぎ三島ロータリークラブ主催の子ども食堂支援のご寄付をお願いしたところ、沢山の寄付をいただき誠にありがとうございました。当日はゴルフ同好会とも重なり出席者が若干少ない結果となりましたが7名の参加を頂いております。今後とも職業・社会奉仕にご支援よろしくお祈りします。参加者はクラブ指定のジャンパーとマスクの着用をお願いいたします。

ROTARY NEWS

ポリオ根絶の最終目標に向けた 世界ポリオデー特別プログラム

10月24日にオンラインで行われた2021年世界ポリオデー特別プログラムでは、ロータリーの目標である「ポリオをなくす」ことが手の届くところまで来ていると、世界保健分野の専門家が述べました。「Delivering on our promise of a polio-free world」(ポリオのない世界という約束を果たす)と題された30分間のプログラムでは、ポリオ根絶活動の進捗状況と今後の課題についての情報が提供されました。

2021年の現在までに報告された野生型ポリオの発症例は世界全体で2件のみで、ポリオ常在国であるアフガニスタンとパキスタンでそれぞれ1件の感染が報告されています。これは今までで最も少ない数です。

質疑応答では、世界保健機関(WHO)東地中海地域担当ディレクターのハミド・ジャファリ博士が、成果を裏付ける要因を挙げました。それらは、新型コロナウイルスによる中断期を経て、ポリオの大規模な予防接種キャンペーンが再開されたこと、過去に発生した野生型ポリオによる自然免疫、新型コロナウイルスによる旅行や人口移動の制限などです。

2つの常在国で同時にこのような減少が見られるのは前例のないことだと、ジャファリ氏は述べています。

ジャファリ氏は、発症数の減少は医療従事者にとって好機であるとしながらも、夏はポリオウイルスに感染する確率が高い季節であり、ポリオが再燃する可能性があることを警告しています。ジャファリ氏は、質疑応答の司会を担った「TIME」誌編集長、ジェフリー・クルーガー氏に対し、だからこそ今、この機会を有効に活用すべきだと強調しました。

また、ジャファリ氏は、アフガニスタンにおける政治的変化や治安の問題についても言及し、アフガニスタンのポリオプログラムは、不確実性の中で活動を適応させることに慣れていると説明しました。「現在は、大規模な予防接種キャンペーンを実施するために、アフガニスタンのすべての地域にアクセスできるような機会も訪れている」と述べました。

WHOとUNICEF(国連児童基金)の発表によると、アフガニスタンでは11月初旬に全国的な戸別訪問によるポリオワクチン接種が再開される予定です。これにより、過去3年間ワクチン接種が禁止されていた地域の子どもたちにも接種が可能になります。

アフガニスタンの状況が変化する中、パートナー団体がポリオ根絶プログラムの中立性と公平さを維持することが最も重要だとジャファリ氏は話します。「いつものように、私たちはすべての関係者と協力していきます」

アフガニスタンのポリオプラス委員長であるモハメド・イシャク・ニアズマンド氏は、パキスタンのポリオプラス委員長であるアジズ・メモン氏とのビデオ演説で、ジャファリ氏の言葉を繰り返しました。

ニアズマンドさんは次のように話します。「アフガニスタンでは、変化の中にあっても、ポリオ根絶が最優先事項であることを確認するため、ロータリーとパートナー団体があらゆる関係者と協力しています。子どもたちが命を救うポリオワクチンやその他の小児向けワクチンを確実に入手できるよう、作業が進められています」

(週報担当: 赤池克斗)